

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2023/09/20

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.04	0.37
JPY/THB	0.2438	0.0021
USD/JPY	147.86	0.25
EUR/THB	38.49	0.34
EUR/USD	1.0679	-0.0013
USD/CNH	7.304	0.013
SGD/THB	26.41	0.24
AUD/THB	23.26	0.30
USD/INR	83.27	0.00
USD Index	105.13	-0.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.782	0.042
10Y (THB)	3.136	0.115
5Y (USD)	4.512	0.062
10Y (USD)	4.359	0.056

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,935.3	0.1
WTI (Oil)	91.20	-0.28
Copper	8,292.5	-67.0

Stock

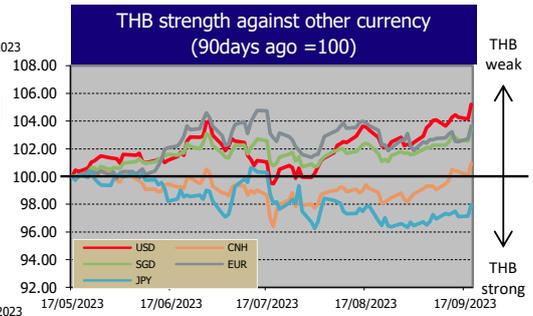
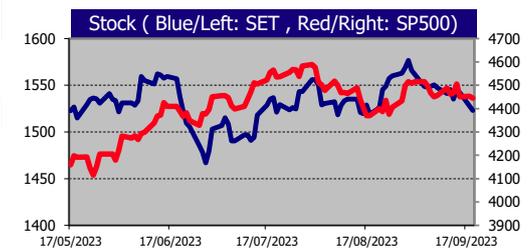
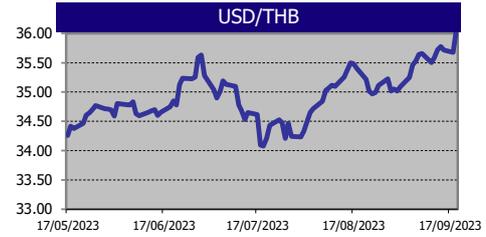
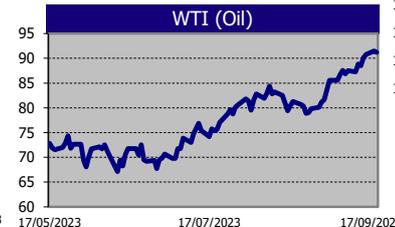
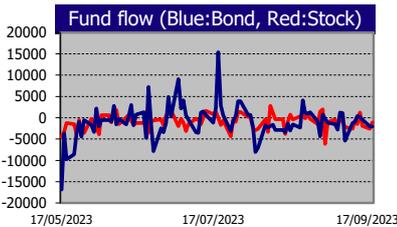
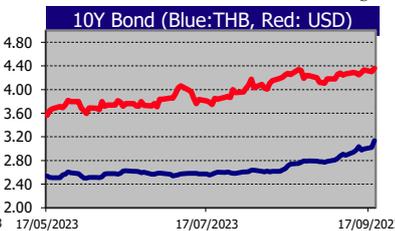
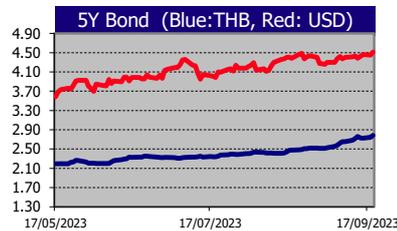
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,522.96	-4.61
NIKKEI (JP)	33,242.59	-290.50
DOW (US)	34,517.73	-106.57
S&P500 (US)	4,443.95	-9.58
SHCOMP (CN)	3,124.96	-0.97
DAX(GER)	15,664.48	-62.64

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,117)	1450.7
Bond net flow	(2,032)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは大きく上昇。35パーツ台後半付近で取引を開始。セーター新政権が当初計画比約1,300億パーツ多い2024年度予算を承認し、タイ公的債務管理室も債券発行による資金調達が多くなるとの見解を示したことが市場に懸念され、タイ債券の需給バランスが崩れるとの見方が強まった。加えて、原油先物価格が上昇して北海ブレントが10カ月ぶり高値まで上昇。1バレル=100ドルも視野に入ってくるという状況でタイのインフレ再加速と経常収支悪化懸念が高まった。こうした国内外双方の要因によるパーツ売りに押されたため、オンショア時間終盤には36パーツ台へ到達。その後の海外時間、FOMC結果発表を翌日に控えながらも、米金利高止まり観測によるドル買いも重なって更に上値を伸ばし、終値としては昨年11月以来の36パーツ台となる36.04で終えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に上昇。147円台半ばで取引を開始。サウジアラビアとロシアの原油供給制限が需給逼迫感を高めている中、WTIと共に指標性が高い北海ブレント原油が昨年11月以来となる1バレル=95ドル台へ上昇。再びインフレ圧力が高まる可能性もある中でFRBが金利を長期に亘って高止まりさせるとの思惑からドル買いが進み、東京市場クローズ後には147円台後半まで上昇。その後は一時上昇分を吐き出す格好となったが、翌日に控えたFOMCや原油高による米債売りが中期ゾーン中心に見られ、米金利上昇が再びドル高を牽引。147.86レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日は急速にパーツ安が進行し、36台まで上伸しました。また、タイの債券市場では長期を中心に債券売りが強まっています。背景には、新政権による政策実現には予算拡大が避けられずその懸念が広がっているためと整理しています。利上げをするしないは短期の金利の動きに大きく影響を及ぼしますが、足許では中長期の金利の動きが大きくなっており、どれほど長く高い政策金利を維持するかおよび経済減速が起こるのかどうかに焦点がシフトしてきています。米国では堅調な経済環境を背景にコントロールが他国比容易である一方で、中国および中国の影響を受けやすい国々ではインフレも相まってコントロールに苦慮する状況が際立っており、ドルが選好されることについて違和感はないのではないのでしょうか。本日深夜にはFOMCがありますが、経済見通しや政策金利見通しが引き下げられるようなことが起こらなければ、引き続きドルが強い状況が続くものと考えます。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.